

# 結

絞首台の鐘が、からころ鳴っています。  
疑いあいの末、あなたは人間たちに吊るしあげられました。

獣の精霊であるあなたを殺すことはできません。  
けれど、ひとびとの手には人を殺したという罪悪が残った以上、  
あなたはもう、あの村に戻ることはできません。

「……かわいそうに」  
あなたはこの事件にかかわったすべてを憐れみます。

ただ巻き込まれた司祭／マキシア。  
不意に隣人が肉だと知ってしまった行商／シュクル。  
愛するものを知らず踏み込ませてしまった魔女／リタ。  
人を望んだのに、獣へと踏み込もうとした新顔／ラウル。

「……お前も、望んだ結末はこんなものではなかったろうに」  
あなたはひっそりと村を眺めながら、ひとりごちます。

もう、あなたが人に混じって生きることはないでしょう。  
この村に戻れない以上。閉じたこの村に、もはや先がない以上。

人に見出した愛しさを抱えたまま。  
それをもうどこにも持っていけないことに  
一つ息を吐いて、あなたは森にかえりました。

+++++

END-D-3：『半ばに在りて』